



協働で支える 安心と安全 ふじみ野

現状

※ 街並み、公園、道路、橋、上下水道 etc. ⇒ インフラ（ストラクチャー）、都市基盤

行政

建設 ⇨ 維持管理（修繕） ⇨ 改築（撤去）

市民

（需要） ⇨ 利用（受益者） ⇨ （需要変化）

課題

- (1) インフラ：劣化は日々進行する、需要は変化する
- (2) 市民：インフラ、都市基盤は利用するもの（整備管理は行政）
- (3) 市民：建設はブラックボックス（3K、金額が大きい、触れられない）
- (4) 行政：インフラの維持更新が厳しい
 - ・劣化、需要への対応（合併ストック、構成人口）
 - ・歳入減少 ⇨ 予算不足、人材不足（専門の技術職員）

事例調査

◎ ICTが解決する社会インフラの課題

日経アーキテクチャより



◎ ちば市民協働レポート事業（通称・ちばレポ）

- ・ ICT（スマホ）で、公園のごみ、歩道の破損等を市民が投稿する
- ・ 行政で内容を分別、行政、業者又は市民ボランティアが対応する
- ・ 最新テクノロジーを使い、市民が公共サービスや政策決定に参加する

市民協働事業、市民参画事業の推進

行政

- ・ 協働参画事業（市民を活かし、任せる：協働・自治）
- ・ ICT推進（需要に合わせて、ガラパゴス化）
- ・ 組織、予算（縦割 ⇨ 事業、組織の統廃合、窓口一本化）

市民

- ・ 行政の現状を理解する（現場、真実を直に見る）
- ・ できる事から参加する（無理しないで身の周りから）
- ・ 協働に半歩踏出す（地域のなかまと組織を作る）
- ・ 得意な専門分野を役立てる（少しは地域に貢献）

3

推進・実現の方法

◎ 市民協働インフラ技術サポート事業

（インフラの安全は市民の技術がまもる）

- ・ 行政：協働事業とする
- ・ 市民：研修を経て技術サポーターに登録
- ・ 市民：技術サポーターとして健全性を点検、確認、報告する

◎ 市民協働安全サポート事業

（公園、道路、街の安全は市民が見まもる）

- ・ 行政：協働事業とする
- ・ 市民：講習会を経て安全サポーターとして登録
- ・ 市民：破損、不具合、危険物、ルール違反をスマホ等で連絡する

◎ 市民参加による街の美化事業

（公園、道路、街の美しさは市民がまもる）

- ・ 行政：植樹帯、植樹柵の管理を地域の市民（組織）に任せる
- ・ 市民：ルールに従って季節の草花等を植え、管理する
- ・ 市民：家の周り、利用する公園等のごみは積極的に拾う

4